



# 白聖はくあ 第4号 令和4年10月6日発行



## 【進路行事について】

### 《1学年 職業ガイダンス 9月8日(木)》

各分野で活躍する職業人を招き、「仕事」が社会をどのように動かしているのか、そのためにはどのような資質・能力が求められるのかを知ることを目的として実施しました。

【自己実現力】【課題発見力】【受信力・発信力】

### 《ガイダンスの様子》



### 《ガイダンスの感想》

●感想 私は今までは高校卒業したら他の県に行く、という気持ちが強かったけれど、今、県を取り組みをきいたら、青森県で行われている様々な取り組みに興味が出てきて青森で働くのも悪くないかも...と思いました。私は、人のために何かする、ということは何となく得意ではないけれど、住民に直接寄り添って地域の人たちのために働くというのはカッコイイなと思いました!! 私は教師を目指しているけれど、最近では逆、というところまで、県の職員という素敵な職業を知ることができて非常に良い機会になりました。

●感想 検査官として仕事をするには、やはり属した被害者や罪を犯した被疑者や犯罪者、という「業」を担うことになるので、責任が重く、プレッシャーも大きいと思います。人の人生を左右するので、全ての労働にあって責任が重く、プレッシャーも大きいと思います。私が「検察官」に就くことになったのは、理由はなくて、自分の好きなこと、やりたいこと、という思いで、検察官に就くことになりました。検察官に就くことになったのは、理由はなくて、自分の好きなこと、やりたいこと、という思いで、検察官に就くことになりました。

●感想 職業ガイダンスのお話を聞いて、紹介していた方々の働き方や行動力がすごいなと思いました。自分で会社を立ち上げたり、務めていて校長先生に当たったり、国際貢献の幅が広がって驚きました。私が「検察官」に就くことになったのは、理由はなくて、自分の好きなこと、やりたいこと、という思いで、検察官に就くことになりました。

●感想 与った仕事にやる気があるだけでなく、自分の興味があることにチャレンジして、かつそのスキルを確立している人たちが青森にもたくさんいることを知って、カッコイイなと思いました。外国の方との交流を深める方法は意外と身近にあって、将来自分が生きたいと思ったものに今からできることに全力で取り組んでいきたいと思います。今後は英語も極めたいので、今から英語の勉強を頑張りたいです。今までは、英語の勉強が苦手な人だったので、今から英語の勉強を頑張りたいです。今までは、英語の勉強が苦手な人だったので、今から英語の勉強を頑張りたいです。

令和4年度職業ガイダンス講義一覧			
番号	系統	タイトル	講義概要
1	公務員	あれもこれも、県庁発。あれもこれも、県庁作。	県庁の仕事は普段の生活では気がつかないようなところにもあります。そんな仕事の一部をご紹介します。
2	法律	検事の仕事等について	検事になるまでの流れ(法科大学院、司法試験、司法修習、二回試験、採用)、検事の仕事(捜査・公判を中心とする幅広い業務分野)等についてお話しします。
3	国際貢献	グローバルに働く-国際機関での経験を通して-	国連職員ってどんな仕事? 途上国の教育支援って何をしているの? 世界中の人とグローバルに働くってどう? UNICEF、UNHCR、世界銀行等の国際機関や外資系企業で働いてきた経験から、国際的に活躍したいという思いを持つ皆さんの疑問や質問にお答えしたいと思います。
4	金融	経済・金融のお話と日本銀行で働く意義	社会に出ると多くの人が経済や金融に携わります。まず経済や金融の仕組みを概観し、日本銀行が果たしている役割についてご説明します。その際、最近の物価上昇や円安なども解説します。そして日本銀行で働く意義などについて講師の経験に基づきお話しし、職業選択される上での参考になればと思います。
5	ベンチャー	キャリアと人生設計	これから世界で活躍して欲しい皆さんへ、わたしが25年間NTTで学んだ社会経験や、ベンチャー企業社長として45歳に独立起業し全国、世界の企業の方々とのビジネスをしてきた中で得たことや失敗したことなど、みなさんがこれから豊かに生きていくための人生設計のために必要と思われること、高校時代から身につけてほしいグローバルスキル、生活習慣などについてお話ししたいと思います。
6	商品開発	自身の価値観を大切にしたい職業選択	あおり産業は『伝統とイノベーション』で社会的課題に取り組みよう、事業を展開しております。青森という地方の零細企業でも多くの大手企業や大学、行政と連携し、成長していく姿は、地方創生のモデル事業として注目されております。自然環境を含め時代の変化が非常に速い昨今において、これから学生の皆さんが何に価値を見出して職業を選択していくのか、考えるきっかけになればと思っております。
7	ICT、土木	土木分野におけるICT活用事例と動向について	土木分野におけるICT(情報通信技術)を活用した測量・設計の事例紹介や、今後国が進める施策の動向についての説明と、UAV(ドローン)や地上レーザスキャナー等の実際の測量機器を使用したのデモンストレーションを行います。
8	医療①	人生100年時代の医師の生活	医学部卒業後の進路の多様な選択、定年退職後の仕事の選択、定年退職のない選択等の多様な働き方がありますが、いつも患者さんと病気を通して人生を考えさせられ、成長させていた医師の生活を紹介します。
9	医療②	聞けば分かる! 診療放射線技師の全て!?	診療放射線技師は、どういった仕事をするのか? なるためにはどうしたらいいのか? 具体的な仕事内容や、チーム医療における役割、この仕事の魅力まで。某ドラマだけでは分からない細部まで、この道30年の玄人3年目の新人苦労人がそれぞれの視点でお話しします。
10	報道	マスコミ学入門 ~発想力を磨こう~	若者のテレビ離れが指摘されています。You Tubeやサブスクとの厳しいレースが続いています。面白ければ支持される。面白くない場合は背を向けられる。実にシンプルです。これからのテレビ界には皆さんの柔軟な発想力が必要です。本日の出陣を通して、放送に興味を持ってくれたあなた。青森朝日放送の一員になりませんか?
11	エネルギー	私たちのエネルギー事情	地球環境や国内外の情勢の変化により、私たちに欠かせないエネルギー事情は大きく変動しはじめています。これらのエネルギー事情について考えとともに、私たちが住む青森県とエネルギーとの関係についても触れながら、進めていきます。

## 【第1回実力テスト・校内模試 各学年主任からのコメント】

《1学年主任より》

実力テストで出題された問題は思考力を問う問題が多かったと思います。高い思考力を身につけるためには、なるべく本を読むことを勧めます。普段の生活では予習・授業・復習をとおして考える時間を設けることが思考力の拡大につながります。

これからの受験や今後の社会で必要とされる資質がこの思考力です。考えることを面倒に思わずに積極的に自分の脳を耕して(cultivate)していきましょう。

《2学年主任より》

学力向上のためには、基礎力の定着が大切です。思考力を問う問題や、複数の学習項目を複合させた問題を解くためにも基礎力の定着が必要です。今回の実力テストの答案を見直して、不足していると感じた学習項目があれば、すぐに復習しておきましょう。また、特定の科目だけに学習時間を割り当て過ぎないようにしましょう。そのためには毎日の学習時間の記録を見て、自分自身でふりかえり、時間不足な科目があれば週末を利用して修正するなどの工夫をしてみてください。“勉学の秋”になります。日々の学習に仲間と協力しながら励んでいきましょう。

《3学年主任より》

手応えのあったもの、未完成のもの、それぞれあったと思います。ここから、今から。「現役生は試験前日まで伸びる」は、本当に本当です。自分を信じ、前進あるのみ。応援しています。

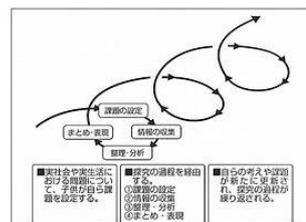
## 【探究活動と進路選択・進路学習】

新学習指導要領が全面実施され、全国の高校で探究活動が本格的にスタートしました。探究活動の中心となる「総合的な探究の時間」では、自己の在り方を深め、将来の進路実現や社会の一員としての生き方の検討につなげていくことが期待されています。【本校においては、1学年の総合的な探究の時間は「プロジェクト学習」で代替、2学年理型は「SS探究」で代替、3学年理型は「SS創造」で代替しています。】

大学入試の動向に目を向けると、近年は総合型選抜や学校推薦型選抜の中に「探究評価型入試」を導入する大学もあります。志望理由書や推薦書に、高校での探究活動の経験や成果を記載させ、探究活動に関する面接やプレゼンテーション、質疑応答などを課すパターンなどが

あります。また、選抜していく中で、探究のプロセスである【課題設定】⇒【情報収集】⇒【整理・分析】⇒【まとめ・表現】のサイクルに関する場面を設けることで探究・研究する力や意欲、アドミッション・ポリシーとの適合性などを評価することもあります。

一例を挙げると、お茶の水大学の総合型選抜（新フンボルト入試）において、文系では図書館入試・理系では実験室入試と呼ばれる方法で、知識を応用する力について評価しています。



高校時代は、自分の生き方・生きる意味・人間や社会の在るべき姿などについて悩み、考えを深める時期になります。その一方で、進学先や就職先などを決める必要もあります。「総合的な探究の時間」では理想と現実の両面について思う存分、納得がいくまで探究し、自己の中で統合していくことが求められています。

また、「在り方」に関しては、進路実現のような個人的な生き方を追求するだけでなく、社会の一員としてどう生きていくかという側面からも具体化していくことが必要です。現代的な様々な課題・地域や学校に応じた課題・自身の興味関心に基づく課題・職業や自己の進路に関する課題に取り組む際にも、社会の一員としてどう解決していくかを意識して取り組んでいきましょう。

総合的な探究の時間で育成する資質・能力である「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう人間性等」は、将来みなさんが企業や地域で多様な人々と仕事をしていくために必要な社会人基礎力（「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」）と連携しています。さらに、大学入試は未来の社会を支える人材育成につながっています。高校までの「学習」で育まれるのは従来の学力ではありません。未来の社会を創造する人材には多様な能力が求められ、その能力開発の途中段階に大学での「学問」や大学入試があります。大学入試時点までの多様な学習成果を測定することが、大学入試の目的の一つにもなっています。